

# 令和6年度 天栄中学校 運営ビジョン

- 村教育委員会の重点施策**
- 天栄型コミュニティ・スクールによる学校運営協議会と地域学校協働活動との連携
  - 愛村心を育む「ふるさと教育」によるキャリア教育・体験活動の推進
  - 「英語の村・てんえい」の実現をめざす英語教育の推進
  - 幼小中連携による「つなぐ教育」の推進

**教育目標**

**基本目標** 豊かな人間性と創造力を持ち、主体的に実践できる生徒の育成

**具体目標** 健康 心身ともに健康な生徒  
向上 進んで学習する生徒  
自立 くじけず前進する生徒

- 生徒の希望**
- 自己の進路実現
  - 学力の向上
  - 運動面・文化面での能力発揮、活躍
  - 楽しく明るい学校
  - ・ 望ましい人間関係
  - ・ 自分たちが主体になった学校生活
- 保護者・地域の願い**
- 生徒の心身の健やかな成長
  - 生徒の安全・安心の確保
  - 生徒の運動面・文化面での活躍
  - 生徒一人一人の夢の実現(学力の向上)
  - 郷土愛の醸成

## 天栄中学校のめざすもの

- <家庭との協働>**
- 1 学校経営・運営への理解と共有の場を積極的に設置する。
  - 2 学校だよりや各種通信、ホームページ等での積極的に情報発信する。
  - 3 家庭訪問や三者相談、日常的な連絡等による信頼関係を構築する。
  - 4 メディア利用、情報モラル教育
  - 5 「家庭学習スタンダード」の活用

- <めざす学校像>**
- 地域から愛され、信頼される学校
  - 教職員が安心して働ける学校
- <めざす生徒像>**
- 元気にあいさつできる生徒
  - 学習に主体的に取り組む生徒
  - 目標に向けてねばり強くやり抜く生徒
- <めざす教師像>**
- 生徒、保護者から信頼される教師
  - 一人一人を大切にする教師
  - 自分に厳しく、生徒愛にあふれる教師

- <地域との協働>**
- 1 地域の中で学ぶ「愛村心」を育む
  - 2 コミュニティスクールと社会に開かれた教育課程の作成、実施
  - 3 地域協働事業の推進と学習環境の向上「人・もの・こと」との関わり
  - 4 学校だより、HP等での情報発信
  - 5 地域に開かれた学校づくりの推進

- ★令和6年度の重点**
- ① 「主体的で対話的な深い学び」を実現できる授業を推進し、学力の向上を図る。
  - ② 生徒が夢やふるさとへの誇りをもてるよう、総合的な学習の時間の充実を図る。
  - ③ 生徒の体力向上と食育・保健指導・交通安全指導の充実を図り、健康安全教育を推進する。
  - ④ 幼小中12年間を通じた指導を行うため、つなぐ教育を推進する。

- <望ましい教師>**
- ① 理想を掲げ、邁進できる教師
  - ② 常に自己研鑽に励む教師
  - ③ 「生徒と共にある教師」
  - ④ 発想豊かで積極的に取り組む教師
  - ⑤ 着実に職務(役割)をこなせる教師
  - ⑥ 約束や時間を守る教師
  - ⑦ 健康で明るい教師
  - ⑧ 共通理解のもと、連携しながら組織的に取り組む教師

## 令和6年度 天栄中学校 努力実践事項

### 教科指導

### 道徳・特活・部活動指導

### 生徒指導・特別支援教育

### 食育・保健指導・安全教育

- ① 「主体的・対話的で深い学び」が成立する授業を実践する。
- ② 総合的な学習の時間にSDGsの視点を意識した探究学習を実践する。
- ③ 各種学力テストの活用により、実態を把握し、指導の改善を図る。
- ④ 少人数教育の効果を高めるために、個別指導の充実を図る。
- ⑤ ICTを活用し、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の充実を図る。

- ① 特別の教科道徳の時間を中核とした道徳教育を推進し、生徒の道徳性を育てる。
- ② 生徒会活動では場と時間を確保し、生徒主体の活動を展開する。
- ③ 体育・健康に関する指導を充実させ、生徒の体力の向上、心身の健康の増進を図る。
- ④ 部活動の指導を通し、健康への関心を高め、情操教育を推進する。

- ① 学級が生徒活動の基盤であることを自覚し、望ましい学級集団をつくる。
- ② 「若竹ノート」を通し生徒理解を深め、個に応じた指導・支援をする。
- ③ 不適応生徒の早期発見・早期対応に努め、不登校を防止する。
- ④ 特別支援教育の重要性を認識し、組織的で、個に応じた適切な対応が行われるようにする。

- ① 食育、給食指導の充実に努める。
- ② 感染症の予防や疾病治療に生徒が主体的に取り組み、健康を維持させる。
- ③ 放射線や防災に関する学習を通し、実践的な力を育む。
- ④ 自転車の乗り方指導や交通安全教室を通して交通事故ゼロを目指す。
- ⑤ 保護者の食育、健康・安全教育への関心を高め、連携しながら教育成果を高めていく。